

第 2 章 中労委全国連絡会議等の運営

1. 中労委全国連絡会議

中労委全国連絡会議は、旧国労委（公労委）において「国労委全国連絡会議」として、昭和 34 年以降毎年 1 回開催されてきたものを、統合後、踏襲した会議である。

第 22 回中労委全国連絡会議は、9 月 8 日（水）労働委員会会館講堂において、中労委会長以下各委員、各区域の委員長（労委規則第 88 条第 2 項の規定により選出された者）及び各区域代表公労使地方調整委員が参集して開催され、冒頭、中労委の菅野会長及び阿曾沼厚生労働事務次官から挨拶があった。次いで、松井事務局長から中労委の活動状況の報告があった後、藤重由美子委員（中労委・公）から「労働委員会の審査手続を体験して～民事事件との比較（違い）について～」、中野厚生労働省政策統括官から「最近の雇用失業情勢等について」と題する講演がそれぞれ行われ、会議は終了した。

2. 地方調整委員長会議

地方調整委員長会議は、旧国労委（公労委）において「地調委員長会議」として、昭和 32 年以降毎年開催されてきたものを、統合後、踏襲した会議である。

第 22 回地方調整委員長会議は、9 月 8 日（水）労働委員会会館総会室において、中労委会長以下公益委員及び各区域の委員長が参集して開催され、冒頭、菅野中労委会長から挨拶があった。次いで「労働委員会活性化のための検討委員会第 1 次報告書について」中労委事務局から説明を行った後、関東、中部、九州の各区域の地方調整委員長から各区域に関する報告が行われた後、意見交換を行い、会議は終了した。